



ブラックバス駆除のため、釣り大会開催

(特非) e-myoko

いもり池周辺の外来生物の 駆除と子どもたちへの 自然環境保全の啓蒙活動の実践

一般助成

2年目

実践

オオハン
ゴンソウ駆除 1,040kg

スイレ
ン駆除 トラック25台

活動の全体目標に
対する達成度 80%

課題

いもり池周辺のオオハンゴンソウ、ブラックバス、スイレンの外来生物の駆除が主な課題。
子どもたちに対して自然環境保全の啓蒙活動を行う。ヨシの紙漉、顕微鏡観察を行う。

活動内容

いもり池周辺のオオハンゴンソウを駆除し、釣り大会の形式でブラックバスを駆除し、妙高市、他のボランティア団体と共にスイレンの駆除を行った。さらに、ヨシ刈りを行い、そのヨシを使った紙漉、その他による環境保全の啓蒙活動を地域住民を対象に行った。また、子どもたちを対象にホタル観察、間伐材利用による工作教室、顕微鏡による生物観察を実施した。環境トレッキングでは妙高の自然環境の観察と自然を楽しむことができた。



オオハンゴンソウ駆除活動

今後の課題

e-myokoが対象とする外来生物の駆除は毎年続ける必要があり、そのため的人员、資材が不可欠である。持続した駆除活動が課題である。活動維持には地域の住民、特に子どもたちへの啓蒙活動が求められる。

成果と工夫した ポイント



成果

オオハンゴンソウは800kg以上駆除。
スイレンは小型トラック25台分駆除した。ヨシ刈りによって高山植物が増え、紙漉には80名以上の参加者があった。82名の子どもたちの顕微鏡観察により環境への理解が進んだ。

工夫

駆除活動、顕微鏡観察を行う前に自然環境保全の意義を説明し、参加者の活動の大切さを十分確認して実施。